

平成29年度 第4回 大垣市障がい者の暮らしを支える協議会 議事要旨

平成30年1月31日（木）

10:00～11:30

大垣市役所3階 合同委員会室

出席者：14名 欠席者：4名

- 1 福祉部長あいさつ
- 2 平成29年度各部会の開催報告について（事務局）
→別紙資料1による
- 3 第5期障害福祉計画・第1期障害児福祉計画（案）について（事務局）
→別紙資料2～4による
- 4 障害者差別解消法に関する取組状況について（事務局）
→別紙資料5による
- 5 協議会組織の変更について（事務局）
→別紙資料6による
- 6 意見交換

<第5期障害福祉計画・第1期障害児福祉計画について>

・訪問系サービスの実績により目標の見込み量、数値が出されているが、サービスを提供する事業所は人員確保に苦慮しており、事業継続に危機感を持っている。今後、どう働く仲間を増やしていくか、いい人材をどう確保するのかを研究協議していただきたい。
→市だけでは解決できる問題ではないが、事業所を交えて一緒に検討していきたい。

・パブリックコメントにあるように医療的ケア児コーディネイターは、一人では少ないのではないか。
→医療的ケア児コーディネイターが全てを担うものではなく、必要な支援をつなぐ役割である。まずは一人を確保し、その後、状況により増員が必要となれば検討していくこととなる。

- ・強度行動障がいの方を地域で対応するのは大変難しい。施設入所者には強度行動障がいの研修を受けたりすると加算がとれるが、日中活動においてははないのではないか。人を厚くして対応をするために、経費的に困難となる。

→報酬改定において、日中活動に関しても加算がつく予定である。

- ・医療的ケア支援のためには、保健、医療、障がい福祉、保育等とあるが、ぜひ、学校教育との連携も検討いただきたい。

→教育委員会と検討していきたい。

<障害者差別解消法に関する取組状況について>

- ・相談事例の相談者は当事者の知人であるが、本人は言語障がいはあるのか。言語障がいがなければ、困ったのは本人であれば、まず本人が助けてくださいと言えるようにしなければならない。気がついているようだったのに助けてくれなかったでは、差別解消法により、障がい者と健常者の溝が深まってしまうのではないかと危惧している。

<協議会組織の変更について>

- ・部会には当事者の部会を検討する予定はないか。

→当事者としては、就労支援部会において事業所紹介フェアを開催し、特別支援学校の児童や家族の参加をいただいた。部会はテーマにより出席者を変更する。専門部会の設置は時代やニーズに応じて柔軟に対応したい。

- ・策定委員と評価委員は兼ねてもいいのか、自ら策定したものを自ら評価することは、評価にならないのではないか。同一とするなら方法や内容をよく検討した方がよいのではないか。

→他の計画においても同一委員で実施している。毎年、計画の進捗状況を確認していただきながら、評価をしていただきたい。